山口大学理学部労働安全委員会

危険を伴う業務または健康障害の防止が必要な業務申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 区分等 | □授業（　　　　　　　）　　□研究室（　　　　　　　　）　□その他（　　　　　　　）期間：令和　　年　　月　　日～　令和　　年　　月　　日 |
| 該当管理規則※該当箇所を■ | 第１８条第１項　□（１）機械，器具その他の設備等による危険　□（２）爆発性の物，発火性の物，引火性の物等による危険　□（３）電気，熱その他のエネルギーによる危険　□（４）掘削，採石等の業務における作業方法から生ずる危険　□（５）職員が墜落するおそれのある場所，土砂等が崩壊するおそれのある場所等における危険第１９条　□（１）原材料，ガス，蒸気，粉じん，酸素欠乏空気，病原体等による健康障害　□（２）放射線，高温，低温，超音波，騒音，振動，異常気圧等による健康障害　□（３）計器監視，精密工作等の作業による健康障害　□（４）排気，排液又は残さい物による健康障害 |
| 業務の概要 | 　 |
| 従事予定者 | 　 |
| 安全確保の措置 | 　 |
| 安全衛生教育の実施 | 日時　　　　年　　月　　日　　：　　～　　：　　　実施内容　 |
| その他の事項 | 　 |
| 提出　令和元年　　月　　日 |
|  | 申請者 |
|  | 所属・職名・氏名 |
|  | 印　　 |

山口大学理学部労働安全委員会

**記入例**

危険を伴う業務または健康障害の防止が必要な業務申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 区分等 | ■授業（有機化学実験　）　　□研究室（　　　　　　　　）　□その他（　　　　　　　）期間：令和元年　4月1日～令和2年　3月31日　※年度単位で提出を行う。 |
| 該当管理規則※該当箇所を■ | 第１８条第１項　■（１）機械，器具その他の設備等による危険　■（２）爆発性の物，発火性の物，引火性の物等による危険　■（３）電気，熱その他のエネルギーによる危険　□（４）掘削，採石等の業務における作業方法から生ずる危険　□（５）職員が墜落するおそれのある場所，土砂等が崩壊するおそれのある場所等における危険第１９条　■（１）原材料，ガス，蒸気，粉じん，酸素欠乏空気，病原体等による健康障害　■（２）放射線，高温，低温，超音波，騒音，振動，異常気圧等による健康障害　□（３）計器監視，精密工作等の作業による健康障害　■（４）排気，排液又は残さい物による健康障害 |
| 業務の概要 | ※どういったものを用いてどのような実験を行うのか具体的に記入する。　有機溶剤や有機試薬，無機試薬などの化学物質を用いて，低温反応や加熱反応により有機化合物を合成し，また生成物のX線回折実験を行う。 |
| 従事予定者 | 　※研究室単位の場合は学生氏名を個々に記載○○　○○（教員名）　理学部　生物・化学科　化学コース2年生　41名 |
| 安全確保の措置 | 　※危険に対する環境整備やその他安全対策について記載　消火器の場所，避難路の確認。救急箱の設置。ドラフト内で化合物の合成を行い，ドアや窓の開放による換気の実施。白衣・手袋や保護メガネの着用を行う。Ⅹ線線量の測定。漏えいⅩ線の定期的な測定を行う。 |
| 安全衛生教育の実施 | 日時　令和元年　4月　9日　15：00～17：00　　　実施内容　安全・衛生の手引きにしたがって説明。　　　薬品を取り扱う際の注意事項や火災などの事故が起こった際の対処方法，またX線の取扱いについて説明を行った。 |
| その他の事項 | 　 |
| 提出　令和元年　　月　　日 |
|  | 申請者 |
|  | 所属・職名・氏名 |
|  | 〇　〇　分野　　教授　　○　○　　○　○　　　　　　印　　 |